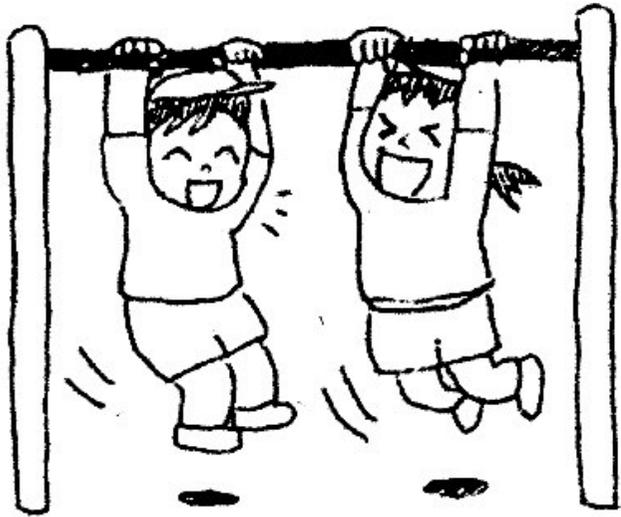


固定施設・鉄棒を使った運動遊び

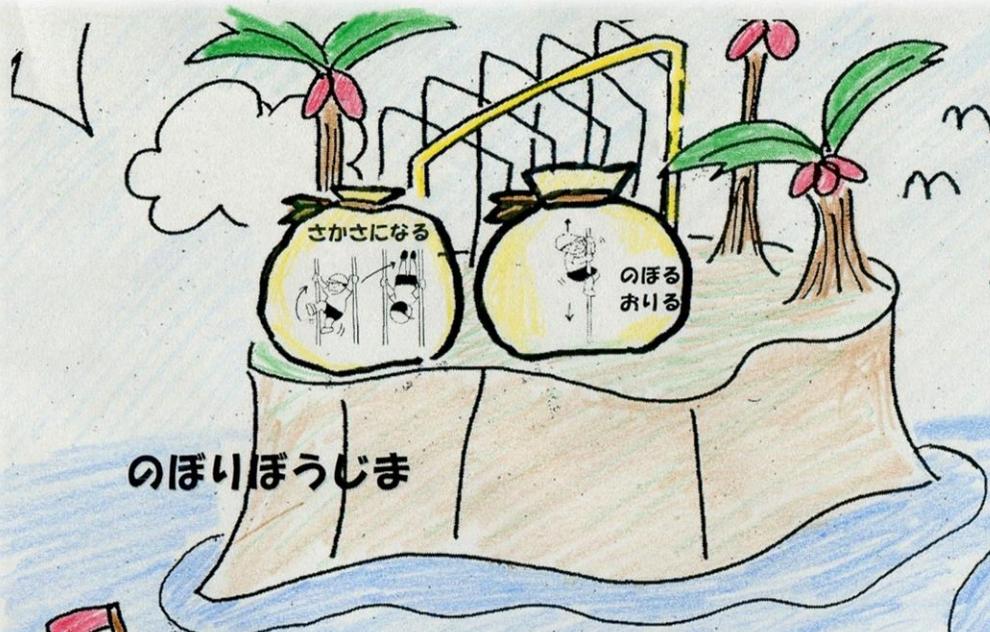
資料集



別冊資料 目次

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10

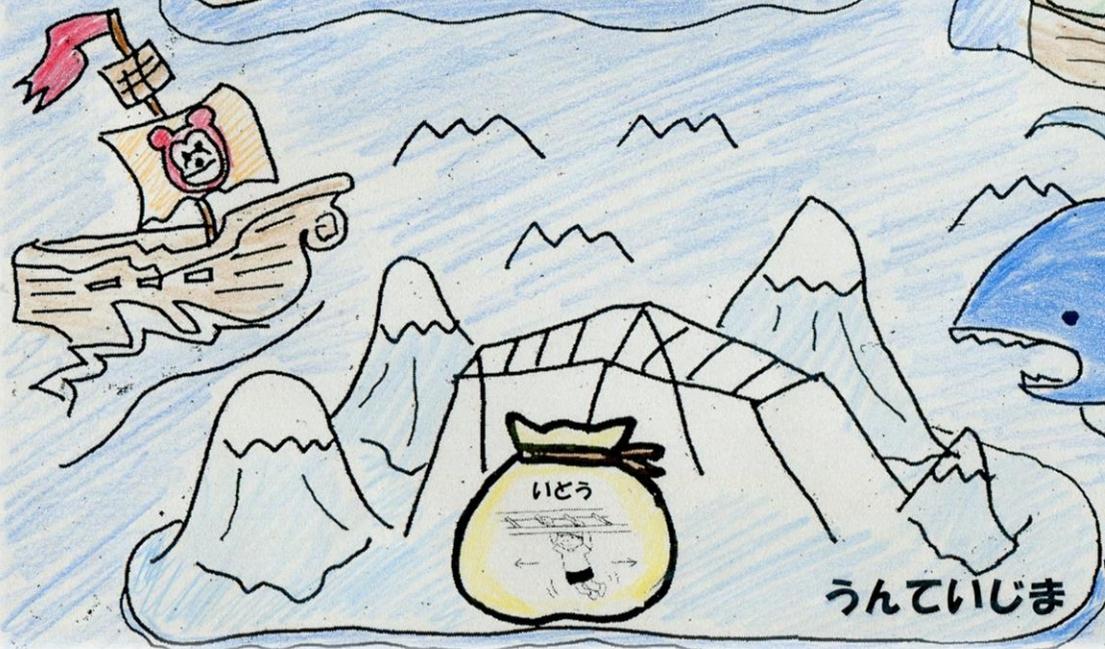
ぼうけんじまへ、レッツゴー!



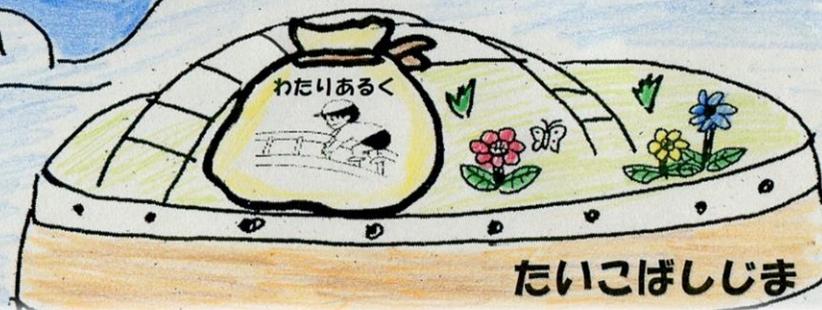
のほりぼうじま



ジャングルジムじま



うんていじま



たいこぼしじま

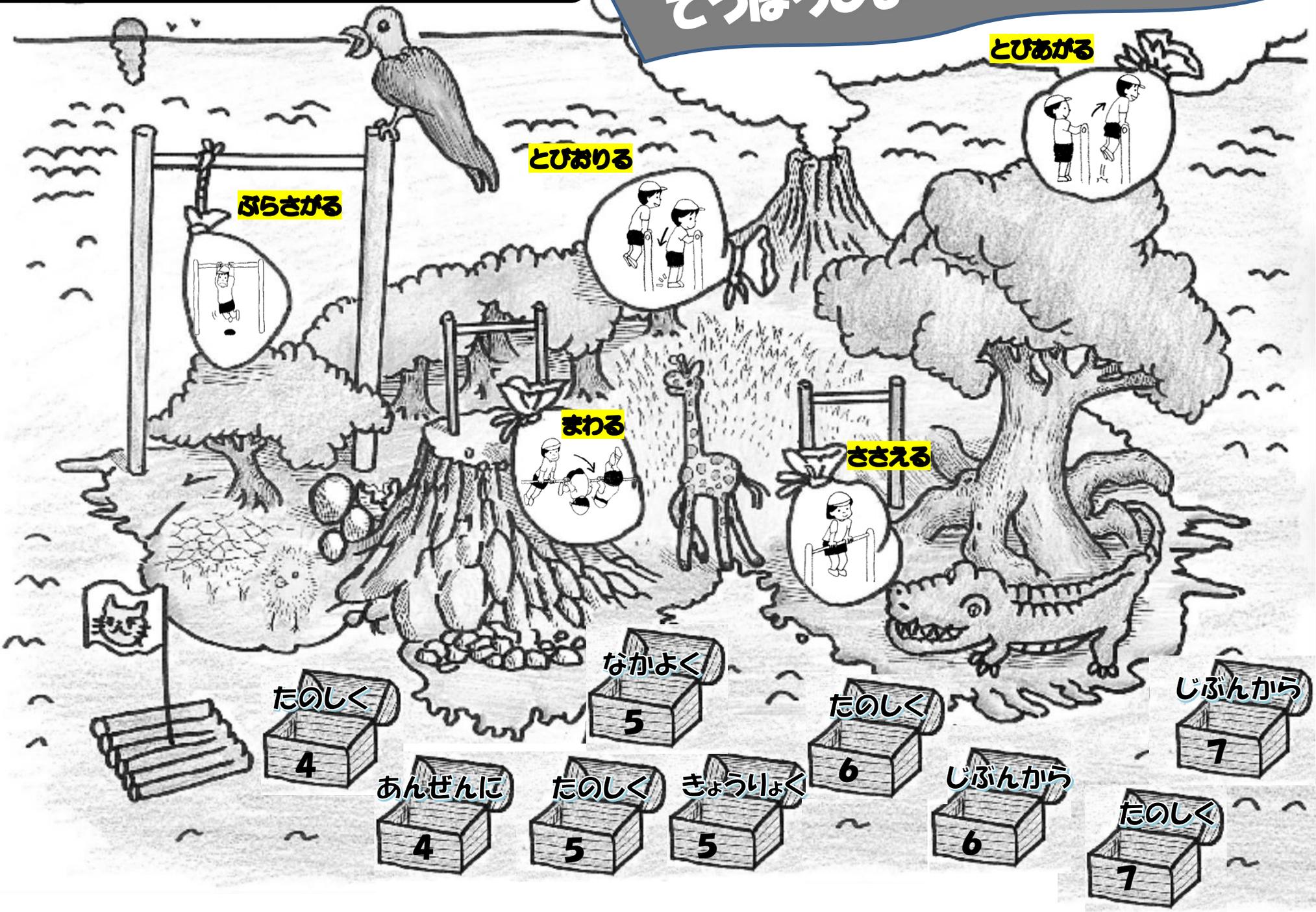


たのしく あんぜんに

たのしく なかよく きょういよく

たのしく じぶんから

てつほうじまへ レッツゴー!



とびあがる

とびおる

ぶらさがる

まわる

ささえる

なかよく

たのしく

たのしく

じぶんから

あんぜんに

たのしく

きょういよく

じぶんから

たのしく

学習カードについて

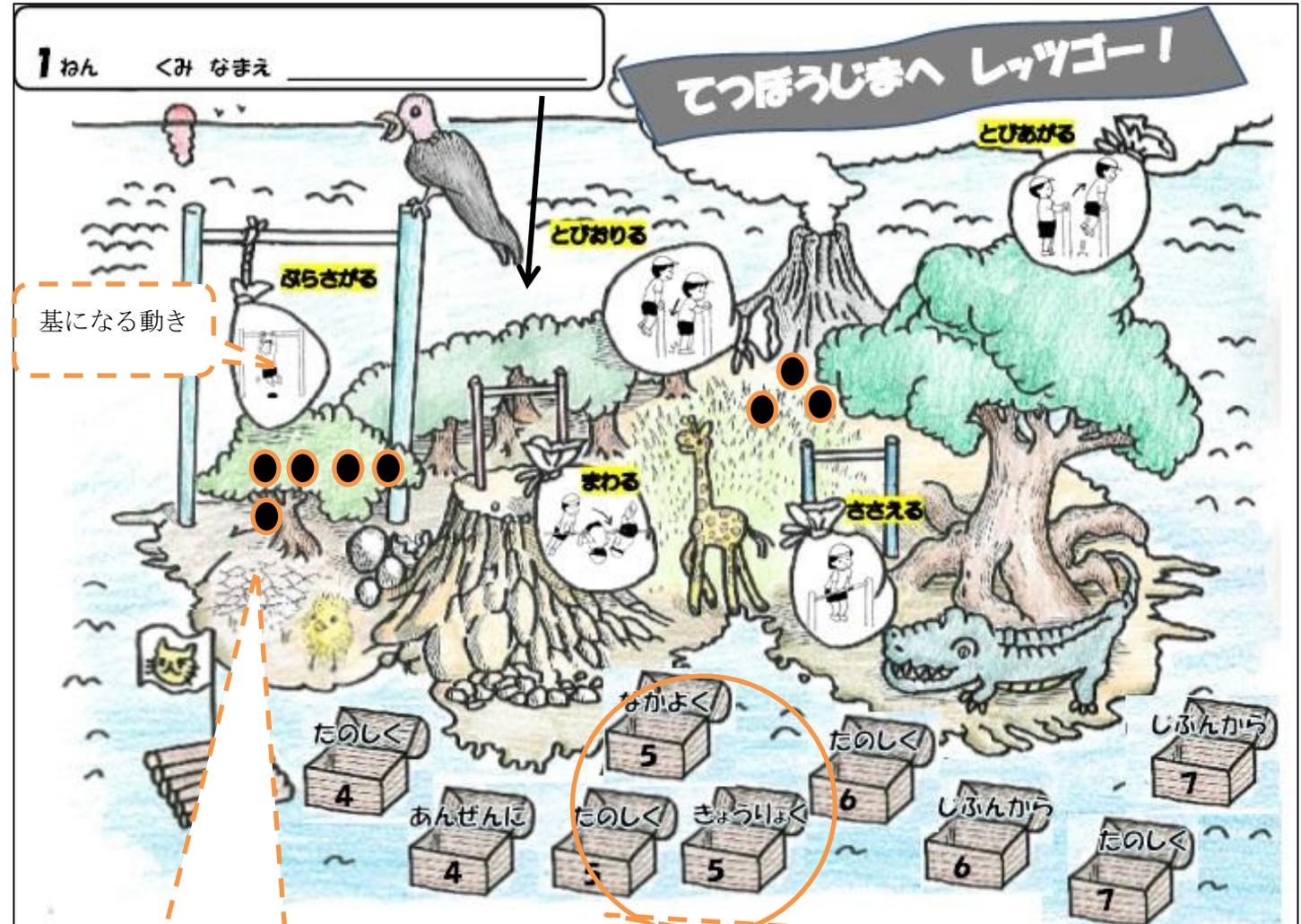
低学年における学習カードは児童が学習に興味をわき、運動したいと思うような魅力あるカードにしたいと考えた。そこで、島ごとに固定施設や鉄棒の遊び方に分け、やってみたいと思わせるようなカードを作った。なるべく簡略化し、児童が態度や意欲を振り返ることができるようにした。

○魅力あるカード

カードを見ただけで児童が遊びたくなるような、楽しそうなカードを作成し、意欲を高められるようにした。

○カードの使い方

- ・カードには、基になる動きを載せている。知る時間の振り返りで、基になる動きに取り組んだらその動きを丸で囲む。広げる時間では、基になる動きの周りに工夫した遊びの数の分だけ丸をかく。この丸を増やしていくことで意欲の向上につなげていく。
- ・宝箱に丸をつける自己評価活動を通して、楽しさと、評価の重点を振り返らせ、次時の指導に生かせるようにした。



取り組んだ遊びの数だけ丸を書く

「楽しく」は毎時振り返る
第5時では「なかよく」「きょうりよく」が評価の重点

掲示資料について

低学年では、学習活動中に学習資料や学習カードを持ったり、活用したりすることが難しい。そこで、掲示資料を充実することで児童の意欲を喚起し、いろいろな遊びを知る資料となると考えた。

掲示資料の使い方、考え方

○意欲をもたせる

活動場所に掲示資料を置き、いろいろな遊び方を知ることで、「やってみたい」「新しい遊び方を考えたい」という意欲をもたせていく。掲示資料には、基となる動き以外に前時や休み時間などに児童が考えた遊びを追加して掲示していく。自分の考えた遊びが掲示されることでさらに意欲を高めることができる。

○思考・判断を見取る

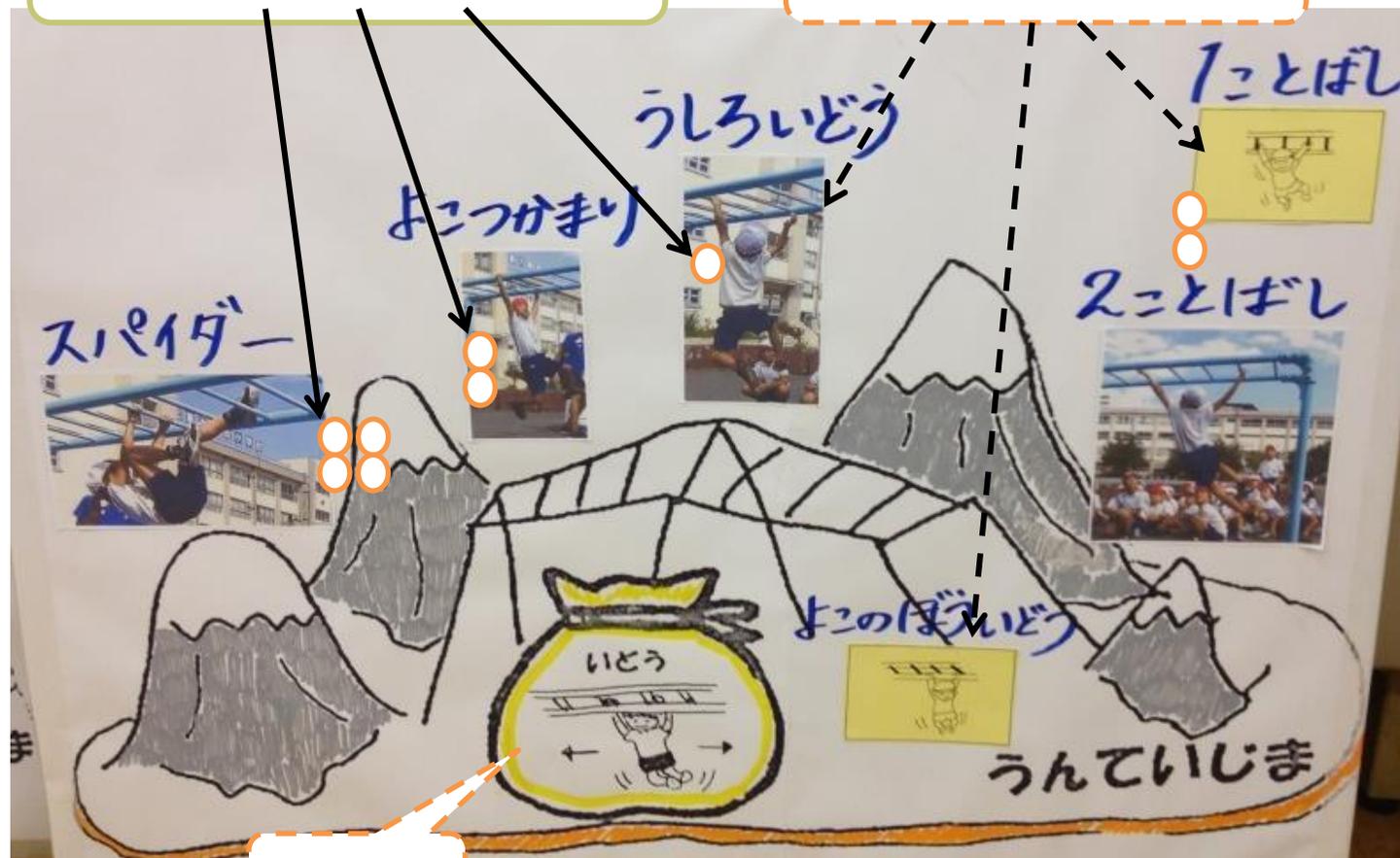
(楽しく遊ぶことのできる場や遊び方を選ぶ)

楽しかった遊び方について掲示資料にシールを貼ることで、児童一人一人の思考・判断を見取ることができると考えた。

《掲示例》

楽しかった遊び方にシールを貼る
(シールには出席番号を書く)

工夫した遊び
(写真や絵を掲示)

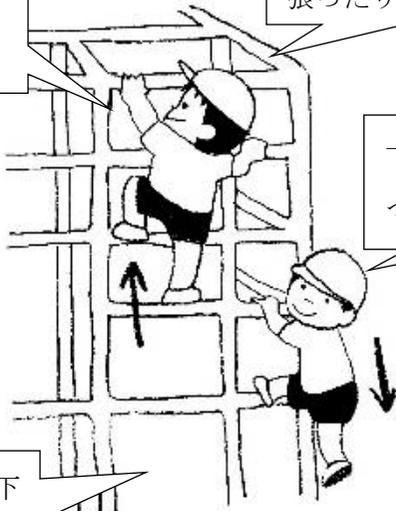


基になる動き

固定施設・鉄棒の安全について

固定施設・鉄棒では「落下」や「衝突」による事故が報告されている。以下のことをオリエンテーションや授業の中で適宜指導したり、安全点検を行ったりして事故を未然に防いでいく。

①固定施設について



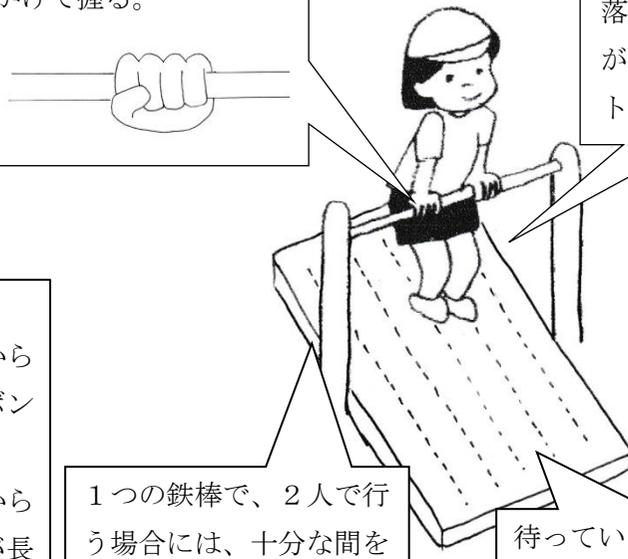
遊ぶ時は手に物を持たない。

友達を押したり、引っ張ったりしない。

下りるときは、ゆっくり下りる。

登っている児童の真下に入らないようにする。

②鉄棒について



親指をしっかり鉄棒にかけて握る。

落下する可能性があるため、マットを敷く。

1つの鉄棒で、2人で行う場合には、十分な間を空けて行う。

待っているときは、動きを行っている児童から離れて待つ。

身だしなみ

- ・体育着が遊具、鉄棒にからまないように、裾をズボンに入れる。
- ・髪の毛が遊具、鉄棒にからまないように、髪の毛が長い児童はゴムで束ねる。

③安全点検について

目で見ると、実際に触ると、異常音の有無を確認する等の日常点検を行い、事故を未然に防ぐ。また濡れた遊具や鉄棒は滑るので、事前に水滴をとってから行う。

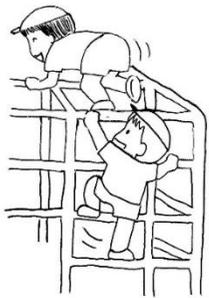
日常点検の着眼点

- ・変形
- ・部分の異常
- ・部材の異常
- ・遊具の異常
- ・欠損
- ・消失
- ・周囲の異常等

固定施設 (ジャングルジム)

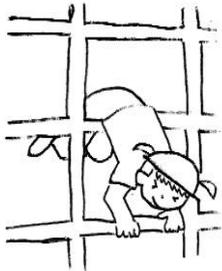
登り下り、渡り歩き

やまのぼり



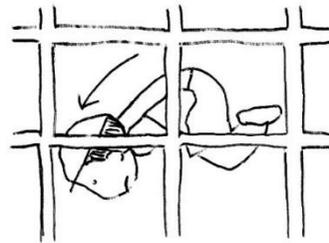
逆さ姿勢

ジャングルさかだち

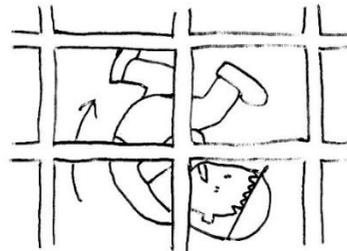


その他

まえまわり



うしろまわり



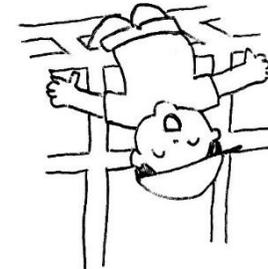
うでささえ



ジャングルジャンプ



うえむきひこうき



サーカス



固定施設（雲梯）

懸垂移行

よこ わたり

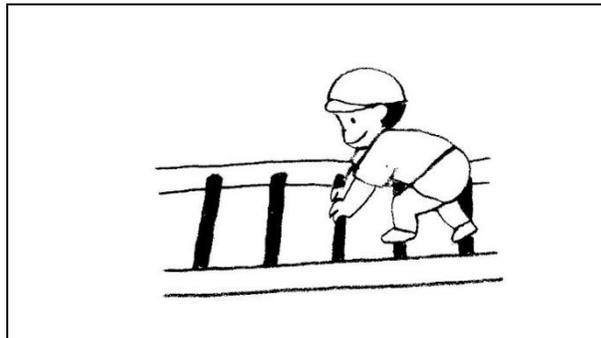


いっこ とばし

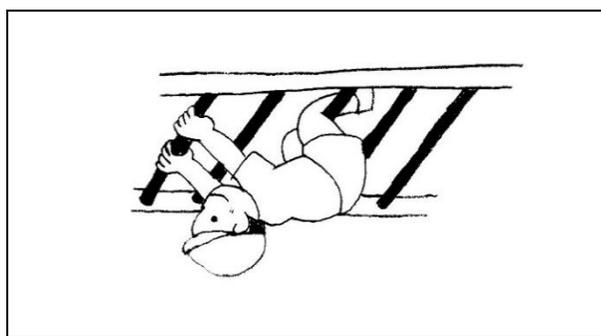


渡り歩き

うえ わたり

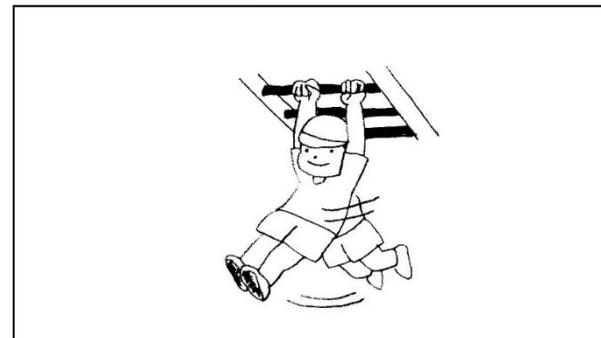


さかさ わたり

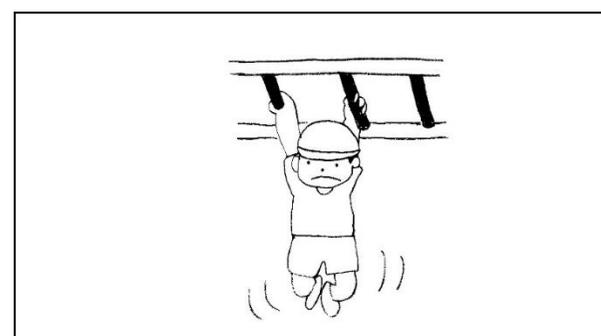


その他

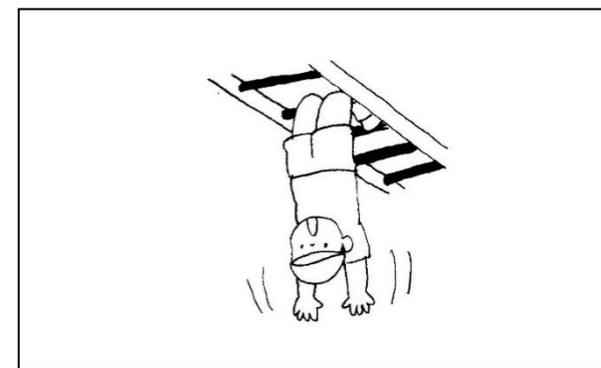
まえぶらさがり



よこぶらさがり



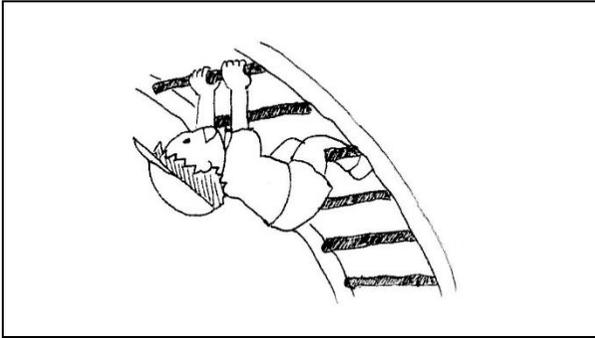
さかさぶらさがり



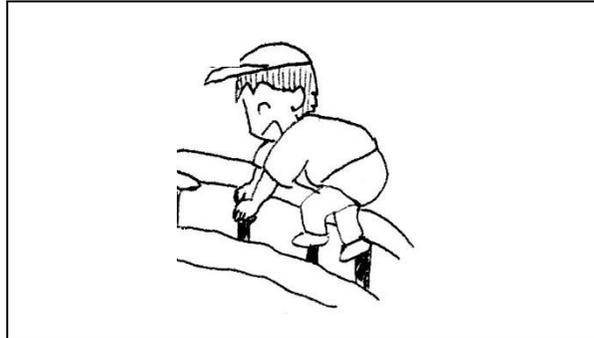
固定施設（太鼓橋）

懸垂移行・渡り歩き・逆さ姿勢 など

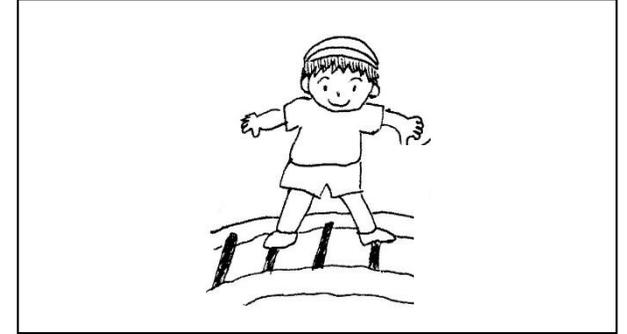
さかさわたり



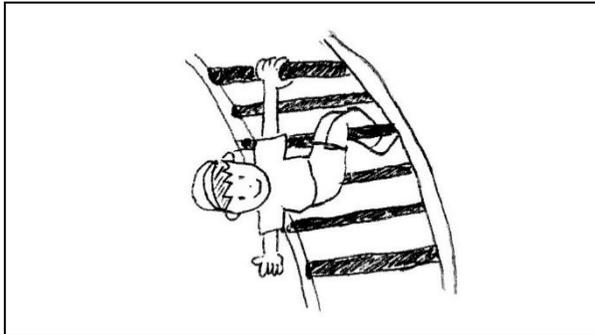
くまのぼり



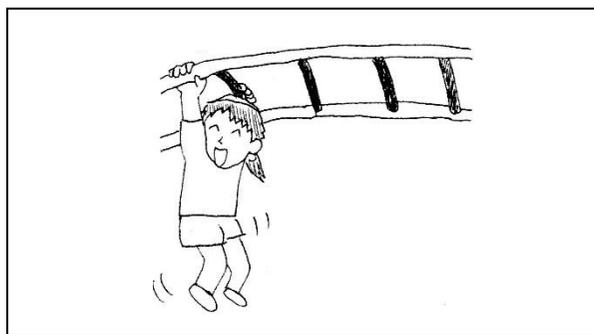
かにわたり



かたてはなし



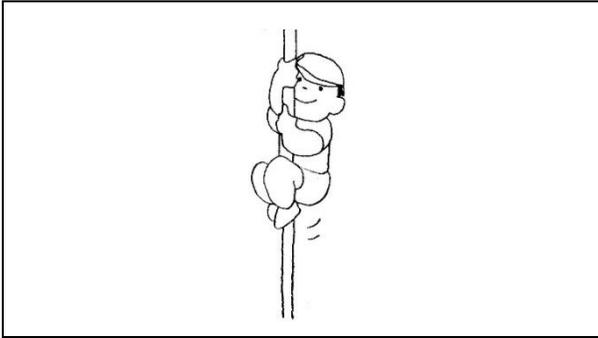
いろいろにぎり



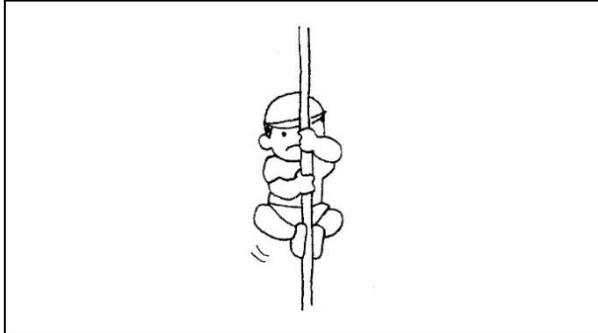
固定施設 登り棒

登り下り

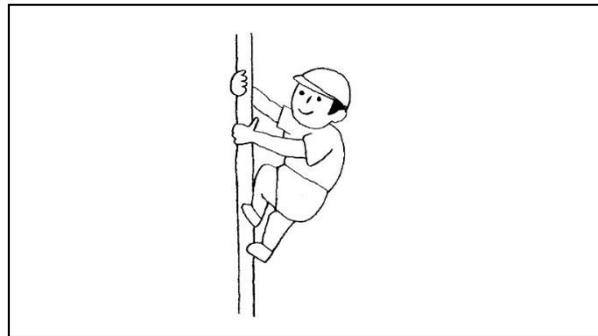
さる①



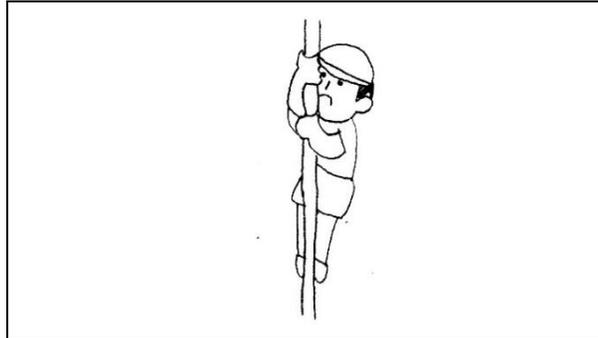
さる②



こあら



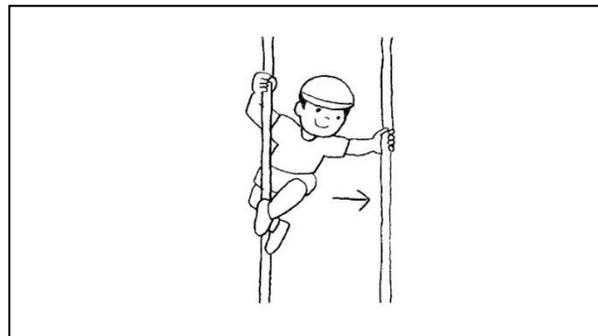
てのぼり



あめんぼ



わたりのぼり



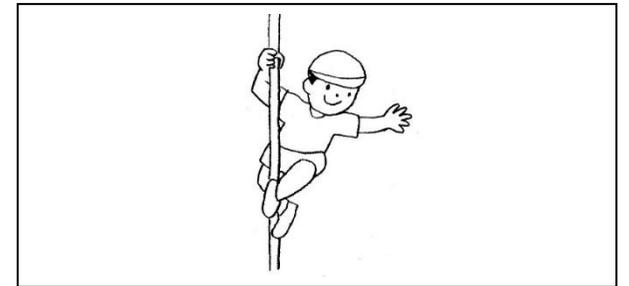
逆さ姿勢

さかさあめんぼ

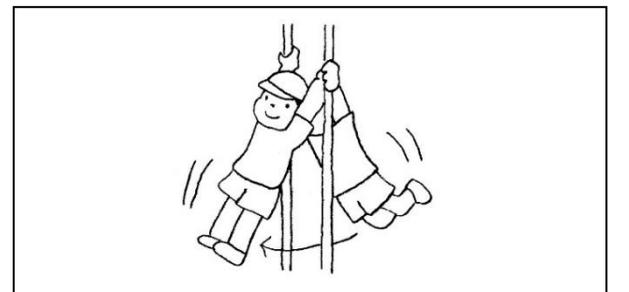


その他

かたてはなし



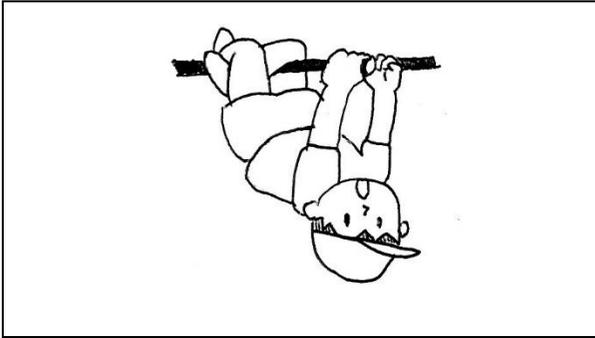
うんていぶらんこ



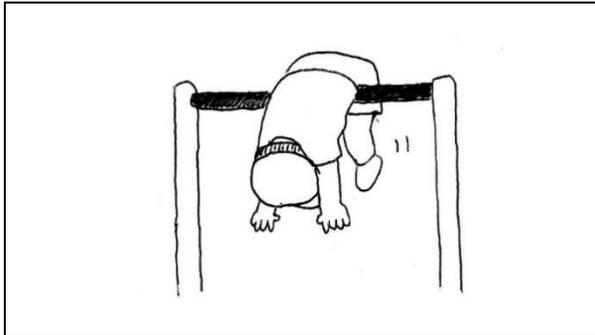
鉄棒 ぶらさがり

○一人で

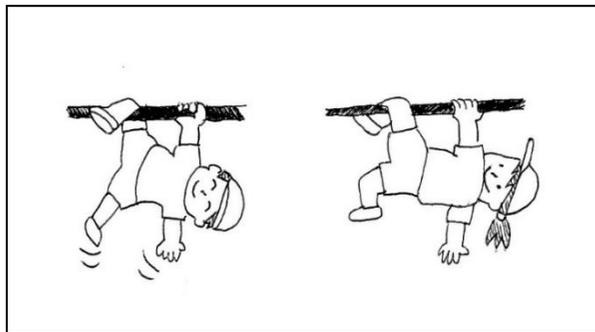
なまけもの



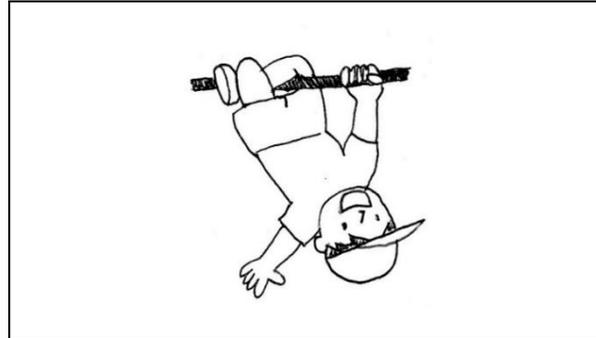
ふとんほし



せんたくもの



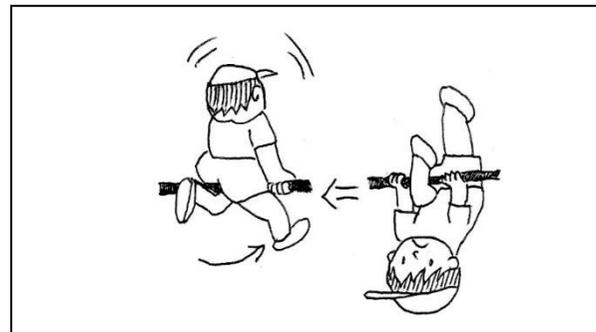
かたてなまけもの



だんごむし

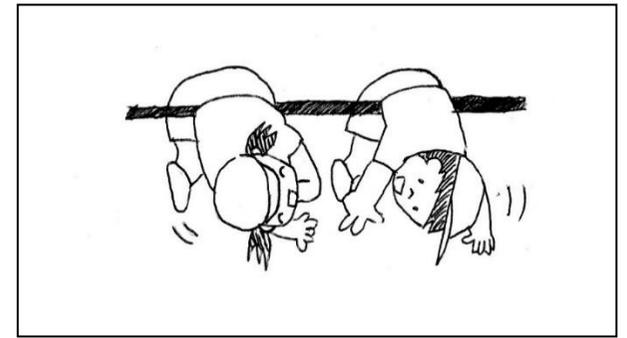


かたあしブランコ

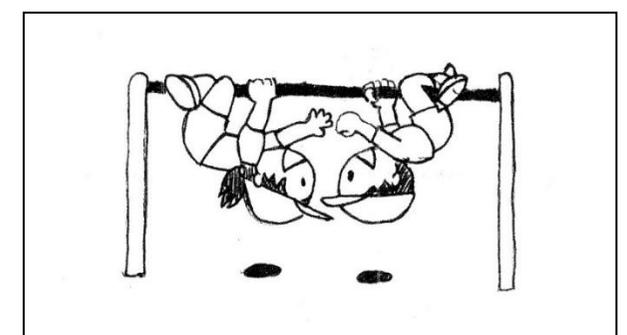


○二人で

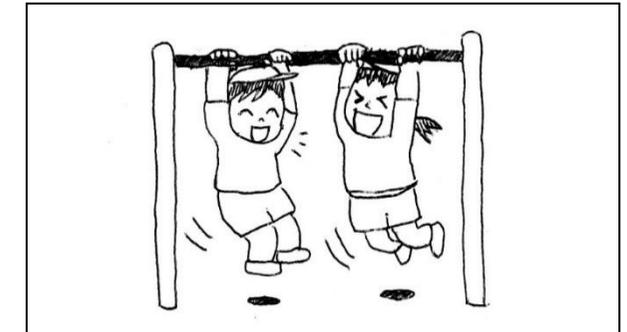
ふとんほしじゃんけん



なまけものじゃんけん



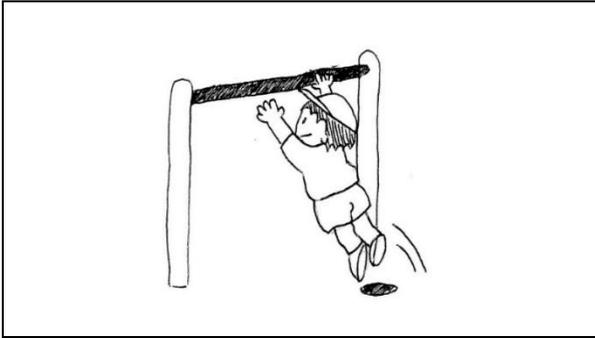
ぶらさがりきょうそう



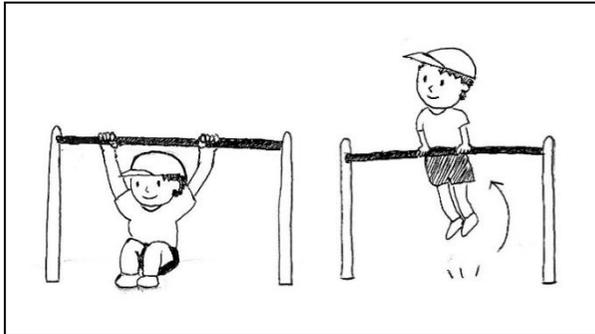
鉄棒 跳び上がり・跳び下り

跳び上がり

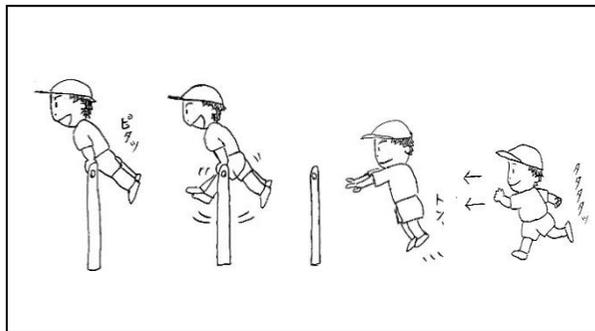
とびあがりジャンプ



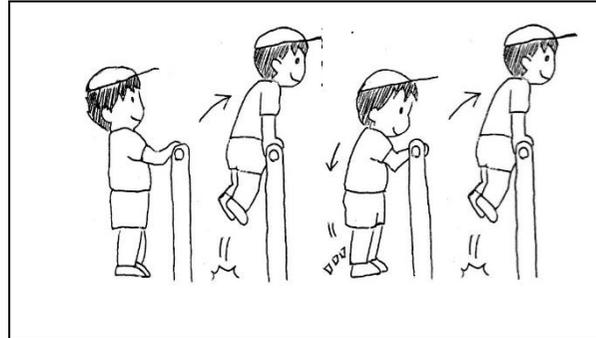
しゃがみとびあがり



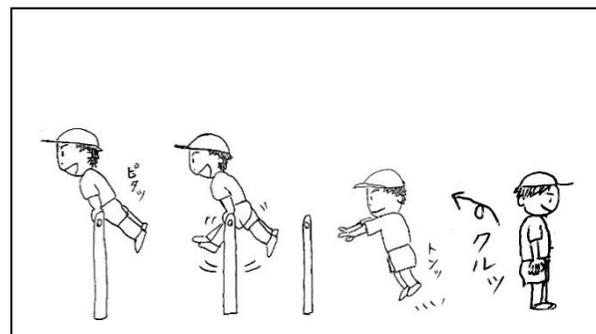
はしりとびあがり



れんぞくとびあがり

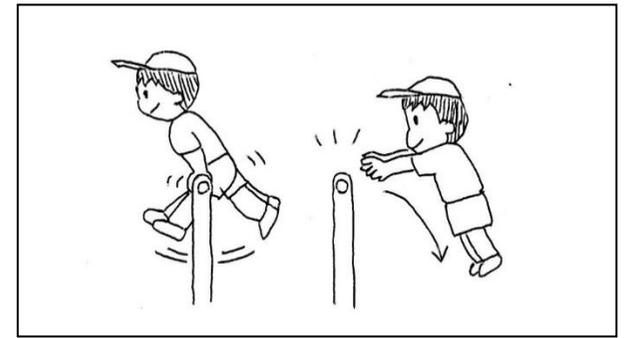


くるっととびあがり

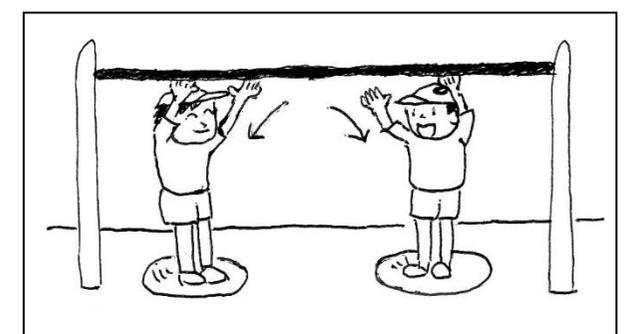


跳び下り

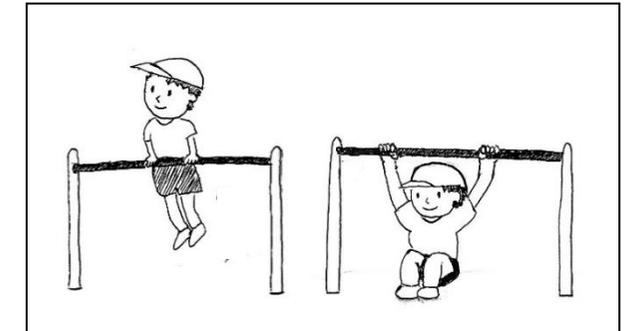
とびおりジャンプ



ななめとびおり



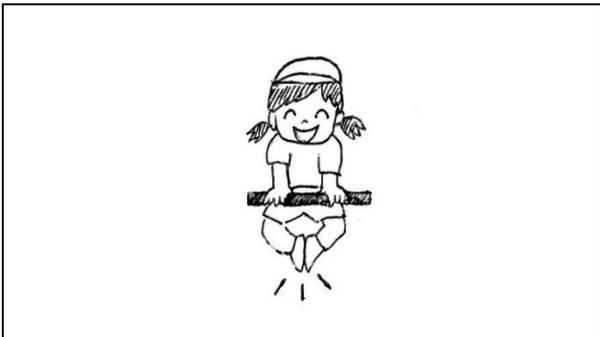
しゃがみとびおり



鉄棒 支持

一人で

あしたたき



じてんしゃこぎ



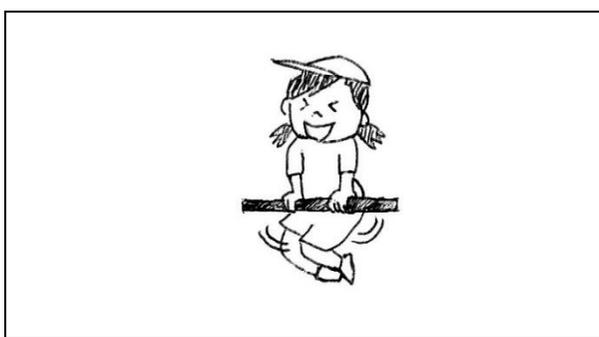
つばめ



ばたあし

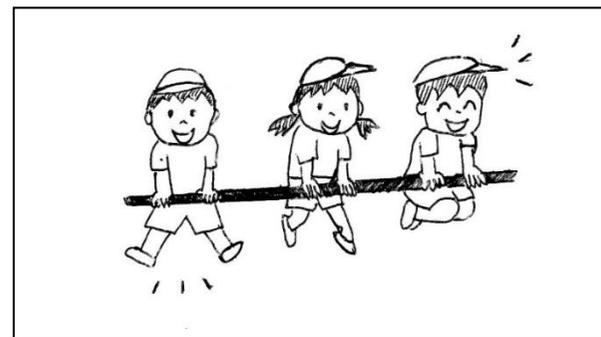


ツイスト

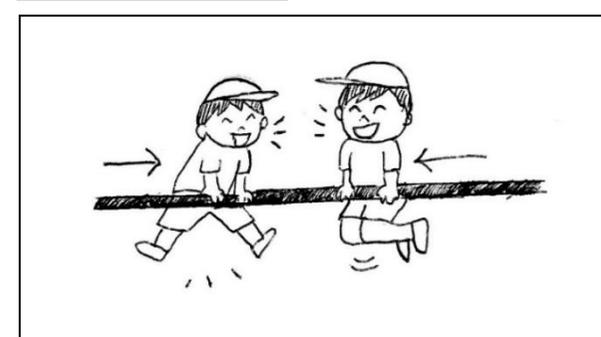


二・三人で

あしじゃんけん

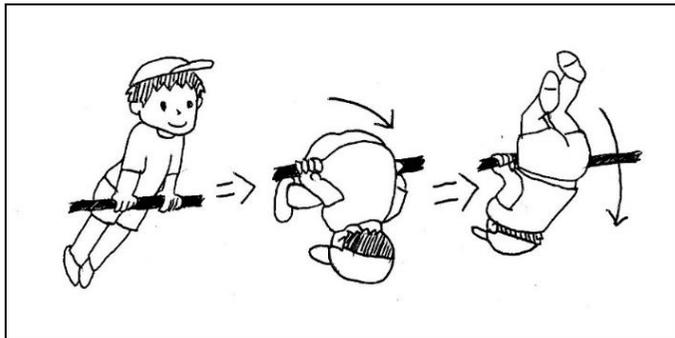


どんじゃんけん

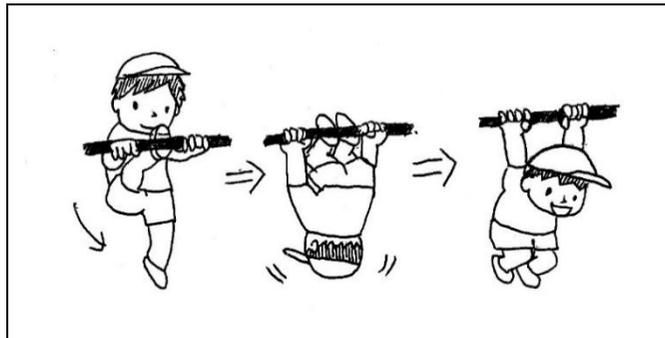


鉄棒 易しい回転

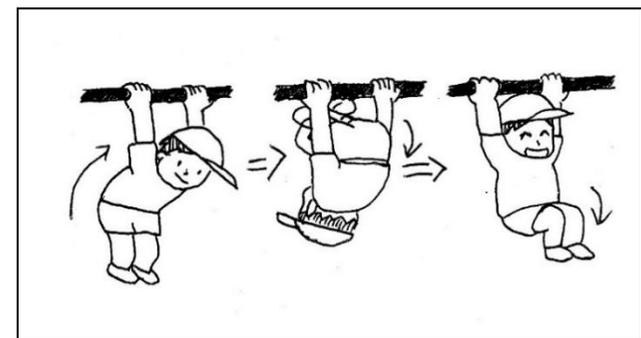
まえまわりおり



あしぬきまわり (まえ)



あしぬきまわり (うしろ)



中学校、高等学校 「知識、思考・判断」

学校	中学校		高等学校	
時期	多くの領域の学習を 経験する時期	卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるようにする時期		
学年	1・2年	3年	入学年次	その次の年次以降
目標	器械運動の特性、成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	
評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する技の合理的な動き方のポイントを見付けている。 ・課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・学習した技から「はじめなかーおわり」などの構成に適した技の組み合わせ方を見付けている。 ・仲間と学習する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題に応じて、学習する技の合理的な動き方の改善すべきポイントを見付けている。 ・自己の課題に応じて適切な練習方法を選んでいる。 ・自己の技能・体力の程度に応じて、目指す技や技の組み合わせ方を見付けている。 ・仲間と学習する場面で、仲間の動きと自己の動きの違いなどを指摘している。 ・健康や安全を確保するために体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 ・器械運動を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を踏まえて、自己や仲間の挑戦する課題を設定している。 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の課題を見直している。 ・自己の技能や体力の程度を踏まえて、流れのある技の組み合わせを選んでいる。 ・グループで学習する場面では、状況に応じた自己や仲間の役割を見付けている。 ・練習や演技の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。 ・器械運動を生涯にわたって楽しむための自己に適したかかわり方を見付けている。 	
内容	<p>「課題に応じた運動の取り組み方を工夫」</p> <p>これまで学習した内容を学習場面に適用したり、応用したりすること。基礎的な知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>「自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫」</p> <p>運動の行い方や練習の仕方、活動の仕方、健康・安全の確保の仕方、運動の継続の仕方などのこれまで学習した内容を、自己の課題に応じて、学習場面に適用したり、応用したりすること。これまで学習した知識や技能を活用して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>「自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫」することができるようにする。</p> <p>卒業後に豊かなスポーツライフを継続できるようにするための視点を重視して。課題の設定の仕方、自己や仲間の課題に応じた練習計画の立て方や発表の仕方などの運動を継続するための取り組み方を工夫することができるようにする。</p>	